

心合わせ、力合わせ!!

～第2回「人権ネット」総会を終えて～

1997年7月4、5日の2日間、「人権資料・展示全国ネットワーク」（以下、「人権ネット」）の第2回総会が、福山市人権平和資料館（広島県）で開催されました。総会には、人権ネット加盟の24機関・団体（9道府県）のうち、7府県の17機関・団体より34名が出席しました。

この人権ネットは、「各機関の相互交流と親睦をはかり、人権確立のための研究、教育、啓発に寄与する」ことを目的に、1996年7月20日に結成されたものです。

第1日目は、13時30分より始まり、まず、人権ネット代表代理の向井大阪人権博物館常務理事のあいさつ、経過報告につづき、新たに人権ネットに加盟した7機関・団体より活動報告が行われました。

つづいて、福山市人権平和資料館と「水平社歴史館」建設推進委員会より「資料について」というテーマで問題提起をし、それに基づき活発な討論が行われました。

その中で、「資料収集には、動機・目的が明確になっていることが必要である。したがって、展示をすることで資料が集まるのではないか」「人間関係を大切に、自ら足を運んで資料収集をしていくことが大切である」等の意見が出されました。

また、収集資料の整理方法についても話し合われました。

さらに、人権ネットの今後の方向についても活発な意見交換がおこなわれ、機関紙「人権ネットニュース」の充実や加盟機関・団体相互の情報交換をさらに図っていくことが確認されました。

最後に、向井代表代理の「資料収集はむずかしいが、楽しさでもある。ネットワークとしての顔合わせ、心合わせ、力合わせがこれからの課題である。人権ネットニュースの充実など、「人権ネット」のとりくみについて共に考えていこう。また、それぞれの館の運営は人権行政のありようと深くかかわっている。厳しい中であるが、発展させていきたい。『国連人権教育の10年』の今、人権ネットの存在は光っている。着実にとりくんでいこう」というまとめがなされ、高下福山市人権平和資料館長の閉会のあいさつで第1日を終わりました。

第2日目は、9時より福山市人権平和資料館と広島県立歴史博物館の見学を行い、12時に解散しました。

同じ目的に向かって、それぞれの立場で努力しているなかまと出会い、話し込める機会がもてたことによつて、とりくみに対する確信や新たな方向性が見出せた会でした。

今日、人権問題が国内的にも国際的にも大きな課題となっており、私たち資料館・博物館に対する期待も大きく、人権ネットが果たすべき役割も重要となっています。

これからも、「交流と親睦」を大切にしながら、人権ネットの目的である「人権確立のための研究、教育、啓発に寄与する」ことに向かって努力を重ね、この「人権ネット」の輪を、さらに強め、広げていきたいと思っています。次回、奈良の水平社歴史館での再会を楽しみに！



第2回人権ネット総会の様子を伝える各紙

<書籍>

シンポジウム報告書

「部落の近世政治起源説」をめぐる
 (パネラー=畑中敏之・住本健次・吉田栄治郎・
 師岡佑行)
 (定価 1,000円)

※ 問い合わせは、京都部落史研究所まで。

大阪人権博物館 ☎(06)561-8195

<展示>

○第43回特別展「ゆるる生と死の境界」

[11月18日(火)～98年1月18日(日) 特別展示室]
 ・歴史、民俗、医学などのさまざまな視点から、生と死のありかたそのものについて探り、今日的な諸課題を考える。
 ・関連シンポジウム「生命の価値」
 [11月29日(土) 14時～ 研修室、入館料のみ]

○企画展「ニッポン人はどうみられているか」

[98年1月20日(火)～3月15日(日) ギャラリー]
 ・外国の教科書などにみられる日本人像など、資料を通して外国からみた日本人像をさぐる。

○「96年度表現大賞写真講座卒業生作品展」

[98年3月17日(火)～3月29日(日) ギャラリー]

<ホール>

○大阪市民劇団かけはし座巡回公演

[98年3月7日(土) 14時～ リパイトール、入館料のみ]

<講座>

○資料を読み解く—近代日本の差別

・映像にみる日本の侵略と朝鮮人(12月6日14時)
 ・近代の地域社会と部落差別(12月13日(土) 14時)
 いずれも研修室、参加費各回 1,500円

<こども講座>

・アニメ・昔ばなし(2月14日(土) 14時)
 ・体験・牛乳パックで作ろう(3月14日(土) 14時)
 入館料(小中学生無料)のみ

※ いずれも、参加方法等くわしいことは大阪人権博物館に問い合わせてください。

平和人権子どもセンター ☎(0722)29-4736

<機関紙発行>

平和人権子どもセンターだより「草の根3号」発行

<特別展>

「伝えよう沖縄のこころ・沖縄展」～瓊(ガマ)が語る沖縄戦～ 国吉勇資料展・上羽修写真展
 ・期間:98年3月22日(日)～4月5日(日)
 ・会場:ピースおおさか(大塚野球場)特別展示室
 ・有料:ピースおおさか入館料のみ
 ・主催:伝えよう沖縄のこころ・沖縄展実行委員会
 (連絡先:平和人権子どもセンター気付)

「水平社歴史館」建設推進委員会 ☎(07456)5-2210

97年12月末「水平社歴史館」竣工予定
 98年1月20日より「水平社歴史館」展示工事開始
 98年2月 「水平社歴史館」建設推進委員会ニュース「ルシファー」22号発刊予定
 98年3月末「水平社歴史館」展示工事完了予定

※「水平社歴史館」開館は、98年5月1日です。

福山市人権平和資料館 ☎(0849)24-6789

<企画展>

第49回人権週間記念企画展「宗教と人権」

・期間:12月3日(火)～12月23日(火)
 ・内容:差別戒名やけがれ意識の問題をとおり、私たちのくらしの中に生きている宗教と人権の問題について考える。

広島県水平社創立75周年記念企画展「人の世に熱あれ 人間に光あれ」

・期間:98年1月21日(火)～3月8日(日)
 ・内容:広島県水平社創立75周年を記念し、全国水平社・広島県水平社関係資料を展示し、解放運動の歩みをふり返る。

<書籍>

研究冊子「人権と平和ふくやま」創刊号(97年8月新)

・発行:人権と平和ふくやま編集委員会
 ・内容:福山を中心とした備後地方の部落問題に関する内容や資料館の活動紹介
 ・定価:700円

ジミー・カーターシビックセンター ☎084767-3535

企画展「石は語る」

・期間：11月18日(火)～12月21日(日)

国際交流訪問団交流展示

・期間：11月21日(日)～98年1月31日(土)

〔入場無料、月曜日休館〕

たかみや人権会館 ☎(0826)57-0311

49th人権週間記念講演会

- ・とき：12月11日(木) 19時30分～21時
- ・テーマ：ホロコーストとアウシュビッツ
- ・ゲスト：ホロコースト記念館長 大塚 信さん

49th人権週間記念人権展

- ・とき：12月13日(土)～12月17日(木) 9時～18時
- ・テーマ：ホロコーストとアウシュビッツ展

三次市平和人権センター ☎(0824)64-0066

みよし人権フェスタ '97

- ・期間：12月4日(木)～12月10日(木)
- ・会場：三次市平和人権センター
- ・内容：4日11時～ オープニング行事
- 6日14時～ みよし人権文芸賞表彰式
- 6日15時～ 人権講演会(講師-サンガラトナ・法天・マナケさん)
- 7日10時30分～15時 ステージ発表、アニメ映画、バザーなど
- 10日18時30分～ 平和コンサート(海勢頭豊さん)

- ・期間中、テーマ別のパネル展開催
- ・入場すべて無料

徳島県立博物館 ☎(0886)68-3636

「失われた伝統 - 民衆芸能の世界 -」

- ・期間：11月26日(木)～98年2月15日(日)
- ・会場：部門展示室(人文)
- ・内容：門付け芸、大道芸として行われた阿波の人形つかいの芸能を中心に、さまざまな民衆芸能の世界を紹介する。昨年度購入した道具一式をはじめ、当館で所蔵する芸能関係資料で構成する。

福岡県人権啓発情報センター ☎(092)584-1270

ヒューマン・アルカディア第3回特別展

炭鉱と民衆の暮らし「炭鉱と被差別民衆」

- ・期間：11月1日(土)～12月27日(土)
- ・会場：ヒューマン・アルカディア(福岡県人権啓発情報センター)
- ・内容：福岡県内の三井三池炭鉱の閉山を契機に、炭鉱労働に従事しながらもさらに厳しい条件のもとで働き抜いてきた人びとの姿を、パネル及び証言映像を通して明らかにしていく。

福岡県人権週間講演会

- ・期日：12月10日(木) 13時～(開場は12時)
- ・会場：クローバープラザ大ホール(福岡県春日市原町3丁目1-7)
- ・内容：第1部 13時～ 出演 春日太鼓
- 第2部 14時～ 講演 「こころの風景」(講師-五木寛之さん)
- ・入場無料、手話通訳あり

人権啓発ラジオ番組放送開始(2番組)

- ①KBCラジオ「中西和久・ひと日記」
11月3日(月)～3か月間、毎週月～金曜日
14時25分～30分(5分間)
- ②RKBラジオ「ウィ・ラブ・ヒューマン(観)」
98年1月～3か月間、毎週月～金曜日
16時55分～17時(5分間)

碓井町立碓井平和祈念館 ☎(0948)62-5173

没後10年「齋藤博之の世界」

- ・期日：11月22日(土)～12月14日(日)
- ・内容：12月8日の太平洋戦争開戦日にあわせて、画家齋藤博之の戦争体験によってつづられたペン画集「死の陰の兵士たち」を紹介し戦争の悲惨さおぞましさを訴える。あわせて、彼の作品群を展示し、彼の芸術活動を紹介する。

